

目指せ！プロフェッショナル資格

CFP®試験 合格への道

より深く広い知識を
身につけるために

エンジニアだった私は、2012年に定年退職しました。そのとき、お金に関する将来の見通しがあまりに漠然としていくことに気が付きました。これからいくら必要なのか、現在の資産で足りるのか心配で、日々の支出にも不安を感じるほどでした。当時の私にはお金に関する知識はほとんどありませんでした。

そこで、本を読むなどして情報を集めているうちに、知ったのがFP資格です。さっそく2級FP技能士の勉強を始め、その年の秋の試験で合格。AFP資格を取得しました。

最初は勉強した内容をもとに自分のリタイアメントプランを作成し、今後を思いをめぐらせました。そのうち、自分だけではなく、FP知識は多くの人に必要だと思えるようになりました。せっかく学んだ知識を他の人にも伝えたい、多くの人のために活かすことができなにかと考えたのです。そんな折、地元で開催されるFPフォーラムの協力員の募集を知り応募しました。個別相談に対応したり、他のFPのセミナーを聞いたりする中で、ますます生活者のためにFP知識を活用したいと思うようになりました。同時に、生活者を支援するには、より深く広い知識が必要だと痛感しました。そしてCFP®資格を目指すことにしたのです。

CFP®試験への挑戦は2014年に開始。定年後ですから時間は十分あるのですが、他にも活動したいことがあり、3年以内の取得を目標にしました。2015年第1回試験での「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」を皮切りに、1回1課目ずつ受験しました。途中で目論見どおりに進まないこともありましたが、当初の計画どおりちょうど3年で6課目合格。

勉強は毎回、試験日の3カ月前から取り組みました。通信講座のDVDで演習問題を学習し、その後に過去問題集を解くことを何度も繰り返しました。特に計算

My SUCCESS POINT

問題を見てすぐ解き方が
わかるレベルを目指す

3カ月前から過去問題を
繰り返し解き
3年計画で確実に合格



勝倉 秀一さん

(東京都)

自営業(コンサルタント、不動産賃貸)

2015年 6月 「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」合格

2015年11月 「金融資産運用設計」合格

2016年 6月 「不動産運用設計」合格

2017年 6月 「タックスプランニング」
「相続・事業承継設計」合格

2017年11月 「リスクと保険」合格

2018年度 第1回CFP®資格審査試験

6月10日(日)

詳細は協会ホームページ
(<http://www.jafp.or.jp/>)
をご覧ください

6月17日(日)

問題については「解けるようになった」とか「正解できた」のレベルで終わるのではなく、問題を見るとすぐに解き方がすらすらと出てくるまで繰り返すことが重要だと思います。「考えればできるレベル」という意識だと、本番の120分の試験時間では、時間に追われ落ち着きを失くし、解ける問題も解けなくなるからです。また文章問題では4択のそれぞれの項目のどこが正しくどこが間違っているかがすぐわかるくらいにまで勉強しておいたほうがよいと思います。

CFP®試験のために勉強する分野は、現役時代の仕事とはまったく異なるものでした。多少関連があるとしたら為替など金融に関わる場所でしょうか。海外工場の管理も担当していたので、会社の売上などの数字は比較の見慣れていました。一方、6課目の中でもっとも苦手だったのは「リスクと保険」です。苦手意識が強く、受験も最後にしました。自己採点では自分の目標点数には及ばず、合否もボーダーライン上。それまで合格時は自己採点ですぐわかる状況だったので、発表までは気をもみました。合格がわかったときは本当にほっとしました。

AFP資格を取得した段階では、ここまで来ることは考えていませんでした。2016年から東京支部の運営委員として活動していることも、大いに刺激となりました。CFP®認定者が多く、合格へのモチベーションを高めることができました。これからも知識と経験を積み上げて、本当の意味でCFP®試験合格レベルのFPになれるよう、努めていきたいと思っています。

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須)②氏名③昼間の電話ご連絡先④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先→ journal@jafp.or.jp
件名は「合格体験談」係